

## 子供の世紀

【復刻版】

●発行＝大阪（日本）児童愛護聯盟

●解説＝菊池義昭・内田塔子

「子どもの権利」という概念が世界中に認められはじめ、優生学が革新的な学問だった1920年代。「まだコドモは看過され、玩弄視され、虐待されている。コドモの権利を増進するために国民的な動員を」と、子どもの人格の尊厳を謳って設立された大阪（日本）児童愛護聯盟の機関誌を復刻。

全15巻●1巻3号～22巻4号  
(1923年7月～1944年4月)

※創刊時の誌名は『コドモ愛護』

次の巻号は未見のため収録しておりません。

1巻(1923年)5月[創刊号]・6・9～12号、2巻(1924年)1・2・4～12号、3巻(1925年)1・3～10号、4巻(1926年)2号、21巻(1943年)12号、22巻(1944年)3号

付録●総目次

▶推薦＝永岡正己・喜多明人・上田信道・石月静恵・安井眞奈美

総約5,700ページ／揃価412,500円

NDC369.4／児童福祉

2017年11月刊／ISBN978-4-86617-191-3



#児童愛護 #優生学 #子どもの権利 #児童福祉 #教育

## 障害児 学童疎開資料集

【編集復刻版】

●編＝松本昌介・飯塚希世・竹下忠彦・中村尚子・細淵富夫

●解説＝松本昌介・飯塚希世

強壮な兵士になることだけが子どもたちに望まれた時代の障害児たちの貴重な生活記録！

第1巻 ●光明学校Ⅰ（巻頭に序文＝逸見勝亮、解説＝松本昌介）

第2巻 ●光明学校Ⅱ（巻末に機関誌類の総目次）

第3巻 ●日誌・報告・通信ほか／回想・研究Ⅰ（巻頭に解説＝飯塚希世）

第4巻 ●回想・研究Ⅱ

▶序文＝逸見勝亮

▶推薦＝大門正克・菊地澄子・藤井克徳

総約1,600ページ／揃価88,000円

NDC378.3／障害児教育[特別支援教育]

2017年11月刊

ISBN978-4-86617-171-5



#光明学校(東京市立) #学童疎開

## 監獄のなかの子どもたち

児童福祉史としての特別幼年監、感化教育、そして「携帯乳児」

●著＝倉持史朗

非行や犯罪にかかわってしまった子どもたちのために特別幼年監や感化教育によって取り組んだ先駆者たちの挑戦！

▶推薦＝木原活信

264ページ／本体価格＝4,620円

NDC327.85／司法、訴訟手続法

2016年12月刊／ISBN978-4-86617-115-9



#少年教護-日本-歴史-明治時代 #児童福祉-日本-歴史-明治時代 #刑務所-日本-歴史-明治時代 #小河滋次郎, 1864-1925

## 朝鮮人学校の子どもたち

戦後在日朝鮮人教育行政の展開

●著＝松下佳弘

戦後、在日朝鮮人児童・生徒の教育を受ける権利は確保されていたのか。年代を追って変容する行政の対応を検証。

▶推薦＝水野直樹

488ページ／本体価格＝4,400円

NDC376.9／幼児・初等・中等教育

2020年10月刊／ISBN978-4-86617-108-1



#朝鮮学校 #朝鮮人(日本在留) #教育行政-日本-歴史-昭和後期 #地方行政-日本-歴史-昭和後期

## 子どもの貧困と教師

東京市万年小学校をめぐる苦悩と葛藤

●著＝別役厚子

万年尋常小学校と坂本龍之輔の活動の実態を正面から探った、別役厚子の遺稿集！

▶推薦＝堀尾輝久・寺崎昌男

408ページ／本体価格＝4,180円

NDC376.3／幼児・初等・中等教育

2019年2月刊／ISBN978-4-86617-154-8



#坂本龍之輔, 1870-1942 #東京市万年尋常小学校

## 高等専修学校の研究

地域の教育ニーズに着目して

●著＝山田千春

各種学校時代からの歴史や変遷を紹介し、不登校や発達障害をもつ生徒の受け皿としての実態や、地域の教育ニーズとの関連性を調査・検証する。

276ページ／本体価格＝3,080円

NDC376.7／幼児・初等・中等教育

2022年3月刊／ISBN978-4-86617-164-7



#教育史 #各種学校 #不登校